



ひとりにしない  
子育て・介護  
支えあい分かちあう  
地域共生社会へ

区議会議員

かっこ  
やない 克子



区議会議員

やまさき  
山崎 まりも



# 生活者ネットワーク 区議レポート NO.41

2024年8月10日 発行:やない克子 山崎まりも

〒176-0001練馬区練馬1-15-1-302 練馬・生活者ネットワーク TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632  
webページ <https://nerima-seikatsusya.net> メール [net-gikai@jcom.home.ne.jp](mailto:net-gikai@jcom.home.ne.jp)



## 今こそ、地域から平和を!

日本は「不戦・非武装」の憲法を持っています。この憲法のもと、いちども戦争をしていません。私たちは反戦平和のメッセージを掲げて、18年間9条スタンディングをしています。

生活者ネットワークの9条スタンディングは2006年から始まりました。きっかけは、2005年に自民党が、「戦争放棄」「戦力不保持」をうたう憲法9条の改定を目的とした「新憲法草案」を発表したことです。そんな中、私たちは憲法について、平和について、一緒に考えよう!と18年前からアピールを始めました。

**第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。**  
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

世界を見ればロシアとウクライナの戦争やイスラエルによるパレスチナ・ガザへの攻撃など、毎日多くの犠牲者が出ています。収束どころか、世界情勢の不安定化は増すばかりです。

一方、日本では「台湾有事」を理由に奄美、沖縄の島々へミサイルや弾薬庫が配備されるなど軍事化が進んでいます。島民からは「島がまた、戦場に



▲「戦争はしない 原発はいらない」の横断幕を掲げて、毎月9日12～13時に練馬駅前でやっている9条スタンディング。ご参加お待ちしております!

なるのではないかと不安の声があがっています。

ミサイルの飛来を想定した情報伝達のしくみ「Jアラート」に対応する訓練は、沖縄はもとより、ここ練馬でも駅や小学校で実施されています。子どもたちにも東京都発行のリーフレット「Jアラートがきこえたら!？」が配られました。ミサイル飛来を想定した訓練が行われる現状に、大きな疑問と反戦平和の危機を感じざるを得ません。

反戦平和を学び、行動する機会がないままに、「有事」の際の訓練だけを実施し、武器を大量に購入して「備えること」は決して、平和につながる道ではありません。むしろ恐怖心とヘイト感情を生み出し、対話による平和外交の機運をも遠ざけています。

訓練を受けさせられ、多額の税金で大量の武器を買う前に、私たちには「やるべきこと」があります。それは戦争を起こさせないためにどうすればいいのか考え、伝え、行動する「不断の努力」です。

山崎まりも





区議会議員

かっこ  
やない 克子

保健福祉委員会  
医療・高齢者等特別委員会



<https://yanai.seikatsusha.me>

## 区立デイサービス事業が廃止に

2024年3月に策定された「練馬区公共施設等総合管理計画[実施計画]2024年度～2028年度」において、区立デイサービスセンター(以下、区立デイ)は原則廃止することが示されました。廃止の理由は「民間のデイサービスセンターが約200カ所あり、サービスも多様化している」としています。第二回定例会中の医療・高齢者等特別委員会で8カ所ある区立デイ各所の廃止時期の予定が明らかになりました。

光が丘デイは2025年度末に廃止し、はつらつセンター光が丘を拡大。その他の7カ所については表のとおりです。右表中の「決定」は、2026(令和8)年度中に新たな活用等を決定するという意味です。

【廃止時期等の予定】

出典:6月17日医療・高齢者等特別委員会資料

名称(併設)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
東大泉デイサービスセンター(都営住宅)	決定	廃止	活用			
豊玉デイサービスセンター(区立高齢者集合住宅、地域包括支援センター)	決定	調整	廃止	活用		
練馬デイサービスセンター(都営住宅、地域包括支援センター)	決定	調整	調整	廃止	活用	
錦デイサービスセンター(公団住宅)	調整	調整	決定	調整	廃止	活用検討中
高野台デイサービスセンター(都営住宅)	工事調整	一部活用調整	決定	調整	調整	廃止
高松デイサービスセンター(区立高齢者集合住宅)	協議調整	協議調整	決定	調整	調整	調整
土支田デイサービスセンター(区立高齢者集合住宅)	協議調整	協議調整	決定	調整	調整	調整

※高野台デイサービスセンターの認知症対応型通所介護事業及び介護予防認知症対応型通所介護事業については、令和6年度末をもって廃止する予定である。

### 現時点の新たな活用例

廃止されたあとの施設は福祉目的に限定して活用する方針が示されています。現在明らかになっているのは次の通りです。

区立デイの運営はいずれも指定管理者制度をとっており、廃止時期の公表は今後の事業縮小に伴う職員配置なども考慮し事業者と協議したとのこと。

- ①東大泉デイ:児童発達支援事業「とことこ」および就労継続支援B型事業「ねりま第二事業所」を運営する社会福祉法人に貸し付け、同事業を移転し充実する。
- ②豊玉デイ:既設の地域包括支援センターにおいて、新たに街かどケアカフェ事業を実施する。
- ③練馬デイ:長期間ひきこもり状態にある方等への居場所支援や生活困窮者等への就労準備・職場定着支援を行う「あすはステーション」を移転し、充実する。
- ④高野台デイ:認知症対応型通所介護事業および介護予防認知症対応型通所介護事業の廃止により生じたスペースを活用し、地域包括支援センターを移転するとともに、新たに街かどケアカフェ事業を実施する。

### 民間の放課後等デイサービスが突然閉鎖

区内の重い障害がある子どもが放課後に通う施設が6月に突然閉鎖し、利用していた子どもたちと保護者の暮らしに大きな影響を及ぼしています。区は、利

用者のニーズに対応する施設を探しましたが、医療的ケアの要件が合わないなど、受け入れ先の確保が難しい状況です。夏休みの対応が必要なことから、区立こども発達支援センターに重症心身障害児放課後等児童デイサービスを開設。7月22日から利用開始となりましたが、あくまでも緊急的・臨時的な対応です。

高齢と障害福祉の違いはあっても、改めて公立の福祉事業の重要性を認識させられました。

### 公共の福祉が問われているのでは？

デイサービスは在宅介護の利用者と家族にとって重要な支援です。区は「民間のデイサービスが増えているから、もう区立デイは必要ない」という姿勢ですが、その多くは営利企業です。高齢者、障害者、子どもなど、命を育む「ケアする仕事」の民営化、営利化は、従事者の待遇や就労環境の悪化を招いていると指摘されています。さらに深刻な人手不足となり、結局は利用する側が不利益を被ることにつながっているといわざるを得ません。

公定価格で報酬が決められている、介護、障害福祉、保育などの福祉事業を安定的に運営し質を高めていくことが、だれもが安心して暮らす地域社会の基盤であると考えます。少子高齢社会、多様なニーズに応じるために、区は公共の福祉事業のあり方を改めて検討すべきです。



区議会議員

やまさき

山崎 まりも

文教児童青少年委員会  
みどり・環境等特別委員会<https://yamasakimarimo.seikatsusha.me>

## 学校からもSDGsを進めよう

学校給食の無償化など、義務教育中にかかる費用面での保護者の負担は減ってきてはいます。しかし、子どもの育ち・学びを社会全体で支えることや、リユースの促進などのSDGsの観点で見ると、まだまだ見直す余地がありそうです。世界を見ると、日本は個人で学校に持っていくものが多すぎるとも言われています。

### 教材のシェアでもったいないを活かす

「きょうだいの人数分の算数セットが家にある」「小学校入学時に全員購入しなくてはいけないのに、使うのは2年生まで。処分に困っている」「学校でSDGsも習っているのに、もったいない!」という保護者の声が届いています。

区の担当課に確認したところ、「算数セットの購入などは各学校で決めている」とのことでした。

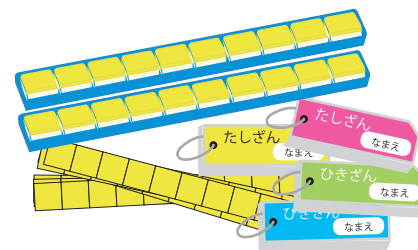
リコーダーのように衛生面で心配がないのなら、学校の備品として共有してもいいのではないかと考えます。

### のどもと過ぎれば・・・で引き継ぎが難しい「こうなったらいいのに!」

小学校・中学校に子どもが通っている時に感じていた違和感や疑問も、卒業すると当事者でなくなるため、なかなか課題解決に向かいません。

中学校の高すぎる制服、名前入りでリユースしにくい体操着、数回しか使用しない柔道着、給食のランチョンマットの必要性など、繰り返し意見が寄せられています。学校によっては、制服のリユースのしくみや体操着の名前入りをやめる取り組みもありますが、SDGsの観点からも、さらに進めるべきです。

▶小学校入学時に購入する算数セット。学校によって内容は異なるが、使うのは一時のため、共有して使えるものは学校の備品にして欲しいという保護者の声も



## 民主主義を感じた都知事選を終えて

過去最高の56人の候補者、公序良俗に反するポスターや一部の政治団体による公営掲示板のポスタージャックなど、これまでに例を見ない選挙になった都知事選挙(7月7日投票)。練馬区の投票率は61.8%。前回の2020年が55.7%でしたので、約6ポイント上昇しました。全体の投票率は60.62%(前回55.00%)でした。都知事選の関心が高まったことは良かったと考えます。とは言っても、4割の人が投票していない現実も。その中には、「投票に行きたくても足が悪くて外出できない」という高齢者が少なくありません。郵便投票の対象を広げるなどの制度改正は必須です。

今回の選挙は、年齢、性別を問わず自主的に候補者を応援するアクションが印象に残りました。都政のみならず今の政治に危機感を持ち「主権者として政治を変えたい」という、まさしく民主主義の体現であり、生活者ネットワークの政策の柱である「市民の政治参加・参画」だと考えます。

### トップダウンからボトムアップの都政へ!

生活者ネットワークは、都政に欠落する自治・分権、情報公開と市民参加を基盤におく都政運営、世代を超えて暮らしの豊かさを実感できる持続可能なまち東京をめざして、市民発・都政への提案を続けます。

### information

●第三回定例区議会:2024年9月6日(金)~10月11日(金)

一般質問:山崎まりも(予定)

本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

生活者ネットワークは、地域の課題や生活者の声を集めて、区政につなげています。

